

---

# ***E-ESC***

*ELECTRIC EXHAUST SOUND CONTROLLER*




## **INSTALLATION MANUAL**

**BL⚡TZ**

---


## — 安全上のご注意 —

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。  
表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）


 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・本製品は排気ガスの流量を制御し排気音量を調節する商品です。音量調節以外を目的としたご使用はおやめください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両にこの製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
---	--

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災や中毒症状の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所や不安定な場所に取り付けしないでください。  
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。  
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。  
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。  
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・本製品の取り付け時に、車両の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。  
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。  
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。
- ・エンジン停止直後の作業を行わないでください。  
排気関係の部品は高温になり、触れると火傷の恐れがあります。

 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。
---	---

- ・LCD液晶表示画面について  
装着場所や見る角度によって文字が見えにくくなる事がありますが、LCD液晶の特性によるもので異常ではございません。この場合は装着位置（角度）を変更してください。

## — 取り付け・ご使用上のご注意 —



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・ **本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。**  
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車輻装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・ **本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。**  
作動不良を起し、車輻を破損する恐れがあります。
- ・ **液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。**  
60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊される事があります。
- ・ **本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。**  
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。  
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・ **エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。**  
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ **定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。**  
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・ **取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。**  
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ **ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。**  
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・ **本製品は純正車両を前提に企画されております。**  
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。
- ・ **可燃物の上や近くに車を止めたり、排気関係部品に可燃物を近づけないで下さい。**  
火災の恐れがあり危険です。
- ・ **バルブ全閉状態では必ずアイドルリング状態か無負荷走行状態のみのご使用としてください。**  
バルブ全閉状態で高負荷がかかりますとエンジン又はバルブユニット損傷等の原因となります。
- ・ **長期間のアイドルリングや無用な空ぶかしはおやめください。**  
排気圧や排気温度の影響により消音機能の低下や電装品等、補機部分の故障の原因となります。
- ・ **サーキット走行等の特殊な用途でのご使用においては、本製品の耐久期間が著しく低下する恐れがあります。**  
高速走行やスポーツ走行等の高負荷状態では必ずバルブ全開状態でご使用ください。
- ・ **本製品は標準車を基準に製作されている為、純正の触媒は必ず装着した状態でご使用ください。**  
触媒を外したり改造することは法律で禁止されています。
- ・ **本製品を装着、数百キロ走行後に各部の点検及び増し締めを行ってください。**  
この作業は定期的に行ってください。
- ・ **本製品は電気部品（モーター）を使用していますのでなるべく高温にならない場所に装着してください。**  
触媒直後は非常に高温となりモーターに負担がかかりますと耐久性が低下します。できるだけ触媒直後から後方に遠ざけて装着してください。なるべく後方に装着することで消音効果も大きくなります。
- ・ **本製品の装着は必ず最低地上高にならない場所に装着してください。**  
本製品が縁石や車輪止め等の突起物に接触し、本体が破損したり接触物等を損傷させたりする場合がありますので、フロアに近くできるだけロードクリアランスを確保できる場所に装着してください。
- ・ **本製品をご使用中にエンジンの不具合等が発生した場合は、直ちにバルブを全開状態にしてください。**  
各部を点検して異常が見られない場合は、専門業者に点検・整備を行ってください。

## — 取り付け・ご使用上のご注意 —









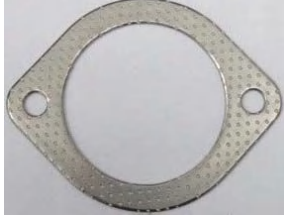





**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・お客様ご本人または第三者の方が、本製品および付属品の誤った使用や、その使用中または作業中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 必ず専門業者にて取り付け作業を行うようにお願いします。
- ・本製品は排気ガス流量の制御を目的に製作されていますので、配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。  
接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようにお願いします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・走行中に車輛及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。  
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり大変危険です。必ず専門の知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・本製品の装着により製品、及び車輛本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。  
そのままの状態で行くと予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
- ・本製品の分解や改造は一切行わないでください。  
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合は弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・保安基準に適合していない車両、マフラーへの装着はおやめください。  
保安基準に適合していない車両、マフラーに本製品を装着しても保安基準には適合致しません。
- ・本製品の装着は確実に行ってください。  
各部の締め付けはトルクレンチを使用して規定トルクにて取り付けを行ってください。
- ・必ず自動車専用のリフトを使用して、安全に作業を行ってください。  
車載ジャッキでの交換作業は大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。
- ・換気の悪い場所や、仮眠をするときなどは、必ずエンジンを停止して下さい。  
排気ガスを吸い込むと、一酸化炭素中毒になる恐れがあり危険です。
- ・作業は必ず2人以上で行ってください。  
1人で作業を行うとケガをする恐れがあり危険です。又、落下等による本製品の破損の原因となります。
- ・本製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えたりしないでください。  
作動不良や故障の原因になる場合があります。
- ・取り付けの際には各部のクリアランスがきちんと確保できることを確認してから取り付けしてください。  
特にブレーキ、サスペンション、駆動関係、電気関係の配線および配管等には細心の注意を払ってください。
- ・ハーネスの取り回しは高温となる場所には絶対に固定しないでください。  
ハーネスはできるだけ高温となる場所から遠ざけ、排気部品等の高温になる場所には絶対に固定しないでください。ハーネスの断線やショート等の不具合の原因となります。どうしても高温部分に近くなる場合は断熱処理を行ってください。
- ・本製品を装着する前後マフラーの内側部分に溶接等のバリや突起物がないことを確認してください。  
バリや突起物がある状態で本製品を装着するとバルブ部分が引っかかり正常に作動しない場合があります。バリや突起物がある場合はきれいに取り除いてから本製品を装着してください。
- ・ボルト・ナット類は適当な工具で確実に締め付けてください。  
必要以上に締め付けを行うとネジ部が損傷したり怪我の原因となります。
- ・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ、しっかりと固定してください。  
配線処理などは注意を怠りますと、突然のエンジン不調や運転操作の邪魔になるなど大変危険です。
- ・運転者は走行中における本製品の操作はしないでください。  
運転中の表示の注視やスイッチ操作は事故に繋がる可能性があるため大変危険です。
- ・定期的に各部の点検、締め付けを行ってください。  
特にガスケットは定期交換部品となりますので、排気漏れやガスケットが損傷している場合は速やかにガスケットを交換してください。
- ・一般公道での走行は、道路運送車輛法を順守して走行してください。

# パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認ください)

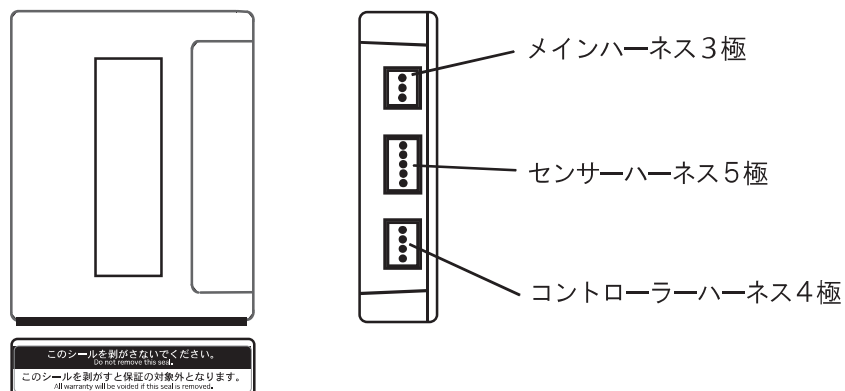
	コントローラー	1		E-ESCバルブユニット	1		メインユニット	1		サブユニット	1
	メインハーネス	1		センサーハーネス	1		ガスケット	2		M10ボルト・ナット	各2
	両面テープ大・小	3		エレクトロトップ	3		タイラップ	7		取扱説明書・保証書	各1

## — 各部の名称と機能 —

### コントローラー：



### メインユニット：



## — 取り付け手順 —

### ■取り付け上のご注意

※換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。

※本製品はDC12V車両専用です。DC24V車やDC12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。

※バッテリーのマイナス端子を外してから、取り付け作業を行ってください。

※コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。

### ■装着可能車両及び製品の仕様

- ①Code No: 16087 φ50用  
フランジボルトピッチ: 80mm 装着パイプ内径: φ46以上
- ②Code No: 16088 φ60用  
フランジボルトピッチ: 86mm 装着パイプ内径: φ56以上
- ③Code No: 16089 φ80用  
フランジボルトピッチ: 106mm 装着パイプ内径: φ72以上

※本製品を装着してもマフラー最後端部が車両最後端部より突き出さないこと。

(本製品フランジ部板厚約12mm、付属ガスケット約2mm×2枚)

※メインハーネスのコネクターを通す穴(15mm以上)がフロアにあいていること。

※E-E S C本体のバルブ、ギヤ、モーター部分が車両側に干渉しないこと。

(1) 上記[装着可能車両及び製品の仕様]の条件を満たしている位置を確認します。

※上記の条件を満たさない場合は無理に装着をしないでください。故障や不具合の原因となります。

(2) 本製品を装着するフランジの間に、ガスケット⇄E-E S C⇄ガスケットの順に挟み込み付属品のボルトとナットを使用して仮締めを行ってください。

※本製品を装着する前後マフラーの内側部分に溶接等のバリや突起物がないことを確認してください。

バリや突起物がある状態で本製品を装着するとバルブ部分が引っかかり正常に作動しない場合があります。

バリや突起物がある場合はきれいに取り除いてから本製品を装着してください。

(3) マフラーやテールの位置関係、E-E S C本体周辺のクリアランスが十分に確保されているか確認しながらボルトとナットを本締めしてください。

・参考締め付けトルク (M10ボルト・ナット) : 46~59 N・m

・参考画像

Code No: 16089 φ80用を

Code No: 64067 GRBインプレッサ用に装着した場合



※本製品はマフラーのフランジ間に挟み込んで装着するため、本製品の装着位置より後方のマフラーの位置関係にズレが生じます。

必ず各部のクリアランスの確認を行いながら本締めを行ってください。

またこの際にマフラー最後端部が車両最後端部より突き出さないように装着してください。

現在のテール出口位置よりおよそ16mm後方へ突き出します。

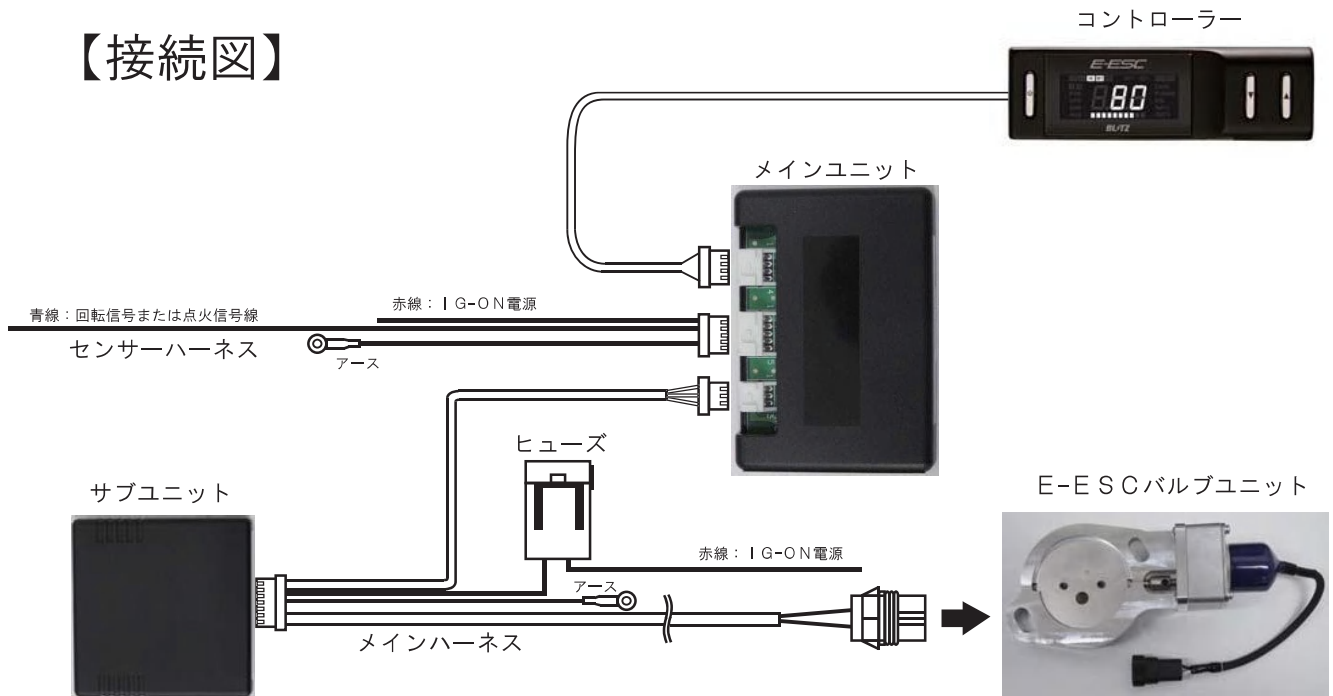
本製品を装着することでマフラーブッシュやフック等の装着が困難になる場合があります。

(4) 本締め終了後、再度マフラー及びテール位置関係、E-E S C周辺のクリアランスを確認してください。

以上でE-E S C本体の取り付けは完了です。

# 一 取り付け手順 一

## 【接続図】



### ※接続の前に！

\*+12V電源を入力する場合は「IGN-ON+12V」となる場所に接続してください。  
**【IGN-ON+12V】⇒ キースイッチをONにした時12V以上になる配線（クランキング時も12V以上かかること）**  
**\*車両側への接続には付属のエレクトロタップ、もしくはハンダ付け等にて確実に行ってください。**

- ①バッテリーのマイナス端子を外してください。  
 \*マイナス端子を外すとオーディオなど車載機器の記憶内容が消えるものがあります。この場合は記憶内容をメモするなどして作業後にそれぞれの取扱説明書に従い設定し復帰させてください。
- ②メインハーネスの赤線を前述の+12V発生する配線へ接続してください。  
 \*車内のヒューズ、リレー等にも+12Vが取り出せる車両があります。
- ③メインハーネスの黒線をアースへ接続してください。  
 \*黒線の接続は車輛のアースポイントに接続してください。アース不良によりバルブがきちんと作動しない場合があります。
- ④メインハーネスの3極コネクタをメインユニットへ、7極コネクタをサブユニットに確実に差し込んでください。
- ⑤E-ESCバルブユニットに2極コネクタを接続してください。
- ⑥センサーハーネスの赤線を前述の+12V発生する配線へ接続してください。
- ⑦センサーハーネスの黒線をアースへ接続してください。
- ⑧センサーハーネスの青線をECUの回転信号に接続してください。  
 \*エンジンコンピューターの配線図は当社ホームページに掲載しています。  
 \*回転信号が取れない車輛はイグナイタ信号に接続してください。  
 この場合はパルス数を「1気筒」から順番に設定し回転数によってバルブが反応するパルス数を設定してください。  
 またイグニッションコイルのマイナス側へは絶対に接続しないでください。本製品破損の原因となります。  
 ローターエンジンではL側のイグナイタ信号に接続してください。  
 （車輛によっては回転信号、イグナイタ信号のどちらからも信号が取れない場合があります）
- \*センサーハーネスの青線は接続をしなくてもAUX（マニュアル）モードはご使用いただけます。
- \*バルブ全閉状態では必ずアイドル状態か無負荷走行状態のみのご使用としてください。  
 バルブ全閉状態で高負荷がかかりますとエンジン又はバルブユニット損傷等の原因となります。  
 また、そのような場合は弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ⑨センサーハーネスの5極コネクタをメインユニットに確実に差し込んでください。
- ⑩コントローラーからの4極コネクタをメインユニットに確実に差し込んでください。
- ⑪運転の操作の妨げにならぬようコントローラー、各ユニット、ヒューズを固定し配線をまとめてください。  
 \*本体ユニット及びコントローラーは水、熱のかからない場所に固定してください。  
 \*各配線はきちんとまとめてタイラップ等を使用し、操作の邪魔や高温にならない場所に固定してください。

接続が済みましたら次ページの「初期設定」へお進み下さい。

## — 初期設定 — モーターの100%→0%時間 及び 回転パルスを決定します。

### (1) 初期設定／初めて車両に装着する場合

取り付け作業終了後、本製品を使用する前に下記要領にて必ず初期設定を行ってください。

**注意！** 初期設定を行わない状態では本製品エラー表示となり正常に機能しません。  
必ず正確な操作にて初期設定を行ってください。

- ①POWERボタンを押し続けた状態でIGキーをONにしてください。  
\*デモンストレーション後、今までのデータがリセットされ【SET】点滅表示となります。  
この状態になったらPOWERボタンを押すのを止め、②の設定を行ってください。

・モニター表示 ⇒ 【SET】



- ②表示が【SET】になってから再度POWERボタンを1回押します。この状態で約12秒ほどお待ちください。  
\*この間にモーターが動き、バルブ開度の100%→0%の時間を記憶します。

- ③設定終了後に『ピー』というブザー音とともに表示が[r. 44]になります。

・モニター表示 ⇒ 【r. 44】

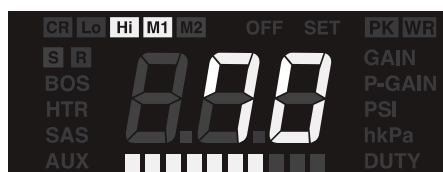


- ④車両の回転パルス数を下記の表を参考に▲▼ボタンにて選択してください。  
POWERボタンを押すことにより決定します。  
\*回転信号が取れない車輛はイグナイター信号を取り、パルス数を「4サイクル1気筒」から順番に設定していき回転数によってバルブが反応するパルス数を設定してください。  
またイグニッションコイルのマイナス側へは絶対に接続しないでください。本製品破損の原因となります。  
ロータリーエンジンはL（リーディング）側のイグナイター信号に接続してください。  
\*車輛によっては回転信号、イグナイター信号のどちらからも信号が取れない場合があります。  
この場合でもAUX（マニュアル）モードはご使用いただけます。

回転パルスの設定			
表示	パルス数	表示	パルス数
r. 00	回転信号なし	r. 44	4サイクル4気筒
r. 41	4サイクル1気筒	r. 46	4サイクル6気筒
r. 42	4サイクル2気筒	r. 48	4サイクル8気筒
r. 43	4サイクル3気筒	r. 40	4サイクル10気筒

- ⑤決定後、パルスを1秒間表示し『ピー』というブザー音にて通常画面へ戻ります。

・モニター表示 ⇒ 【70】



以上で初期設定は終了です。  
長期にわたりご使用いただいた場合は定期的にこの初期設定を行っていただくことで、バルブ開度の多少のズレを修正できますので、定期的にこの初期設定を行っていただくことを推奨します。



## — モーター制御について —

### (2) モーター制御について

■マフラー制御バルブモーター（ギヤードモーター）を下記の14ポイントの角度にてコントロール（時間制御）

角度	0°（全閉）	4.5°	9°	13.5°	18°	22.5°	27°
表示	0	5	10	15	20	25	30
角度	36°	45°	54°	63°	72°	81°	90°（全開）
表示	40	50	60	70	80	90	100

■電流を常に監視し、状況に応じてモーターを停止させるセーフティ機能搭載

- ①回路内に基準値以上の電流が流れた場合に停止します。
- ②全閉時、全開時の電流値を確認し停止します。

## — ボタン操作について —

### (3) ボタン操作について



#### ①POWERボタン：

- ・オートモード1～2、AUXの切り替えボタン。押すごとにブザー音が鳴ります。
- ・押しながら電源を投入すると<初期設定>に入ります。
- ・電源投入中に3秒以上、長押しすると<各モード設定>に入ります。

#### ②UP▲、DOWN▼ボタン：

- ・UP（▲）ボタンを1回押すごとにバルブ開度が開き方向に1段階づつ変化します。押すごとにブザー音が鳴ります。  
\* 1.5秒以上長押しにて100%（全開）になります。
- ・DOWN（▼）ボタンを1回押すごとに角度が閉じ方向に1段階づつ変化します。押すごとにブザー音が鳴ります。  
\* 1.5秒以上長押しにて0%（全閉）になります。

## — 作動について —

### (4) 作動について

- ①IG12vが入力されると表示は[10][9][8]・・・[0]と0.2秒ごとにカウントダウンしていきます。  
\*この間のバルブ開度は0%（全閉）です。  
\*カウントダウンの[0]の表示の時に1秒間ブザー音が鳴ります。
- ②その後、設定したモード、数値になります。
- ③電源投入後5分間は設定回転数より300rpm高い回転数にて切り替わります。  
\*冷間時のアイドルアップ対策。
- ④回転信号の入力が2秒以上なかった場合はどのモードでも[H i ]の状態になります。また回転信号の入力が再度あれば復帰します。
- ⑤～60%までは[WR]が点滅、連動してブザーの断続音を鳴らすことも可能です。  
（ブザーの断続音は各モード設定によりON/OFF設定が可能です）
- ⑥数値の表示に連動しオープンゲージでも表示します。
- ⑦開度に変化している時はデジタル表示がランダムに動きます。  
\*開度に変化している間はモードの変更を行っても、その開度に変化し終わるまでは次の動作に移りません。

## — モード説明 —

### (5) モード説明

■制御モードは3モードがあり、POWERボタンにより切り替えが可能です。また各モード作動中に▲▼ボタンにてバルブ開度の変更ができます。

モード		表示	[Lo]	[Hi]
モード 1	オートモード 1	[M 1]	0-100% (設定可)	50-100%(設定可)
モード 2	オートモード 2	[M 2]	0-100% (設定可)	50-100%(設定可)
モード 3	AUXモード	[AUX]	0-100% (設定可)	

①モード1、2はエンジン回転数に応じて[Lo] [Hi]2種類の領域でバルブ開度を設定できます。ボタンを1回押すごとに1ポイントずつブザー音連動で開度変化します。

②[Lo] [Hi]の切り替えは1000rpm-3000rpmの範囲で100-200rpm単位にて設定できます。

③モードAUXは0-100%の範囲にて任意の開度にマニュアル調整できます。

④下記の設定は10ページ(6)からの[各モード設定]により決めることができます。

- ・エンジン始動時のモード1、2のLo、Hiのバルブ開度
- ・エンジン始動時のモード1、2の切り替え回転数
- ・エンジン始動時のAUXのバルブ開度
- ・エンジン始動時の開始モード (初期値はモード1)

\*Loは0-100%の範囲にて調整できます。

\*Hiは50-100%の範囲にて調整できます。

\*モードAUXは0-100%の範囲にて調整できます。

\*バルブ開度30%までは5%刻み、30%以上は10%刻みで調整できます。

\*モード[Lo] [Hi]の時にUP(▲)、DOWN(▼)ボタンでバルブ開度を変更した場合は、次のバルブ切り替え時には変更後の数値となります。一度電源をOFFにすると元の設定値に戻ります。

\*バルブ開度変化している間はモードの変更を行っても、その開度変化し終えるまでは次の動作に移りません。

# — 各モード設定 — オートモード 1 の設定値を決定します。

## (6) 各モード設定

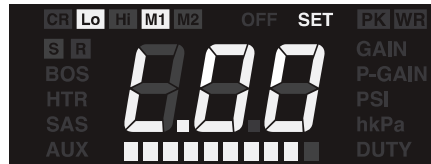
初期設定終了後、お好みに応じて下記要領にて各モード設定を行ってください。

■本製品の電源が入っている状態でPOWERボタンを3秒以上長押しすると設定モードになります。

- \*設定中は画面右上の【SET】が点滅します。
- \*設定中はモーター開度は100%（全開）となります。
- \*▲▼ボタンにて選択し、POWERボタンにて決定します。
- \*①～⑩までの設定が終わり、再度POWERボタンを押すとまた①の項目に戻ります。
- \*POWERボタンを3秒以上、長押しにて設定終了となります。

①エンジン始動時、オートモード1のバルブ開度の設定（L o時） \* [M1] [L o]点灯

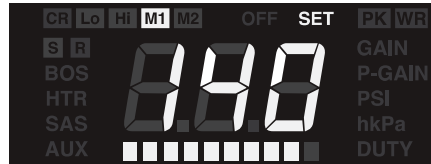
・モニター表示 ⇒ 【L. 0 0】



表示・点灯	初期値	表示	開度	表示	開度	表示	開度
L. ## [M1]	L. 00	L. 00	0%	L. 25	25%	L. 70	70%
		L. 05	5%	L. 30	30%	L. 80	80%
		L. 10	10%	L. 40	40%	L. 90	90%
		L. 15	15%	L. 50	50%	L. 100	100%
		L. 20	20%	L. 60	60%		

②オートモード1のバルブ開度切り替え回転数の設定 \* [M1]点灯

・モニター表示 ⇒ 【1 4 0】



表示・点灯	初期値	表示	回転数	表示	回転数	表示	回転数
1. ## [M1]	140	100	1000rpm	150	1500rpm	220	2200rpm
		110	1100rpm	160	1600rpm	240	2400rpm
		120	1200rpm	170	1700rpm	260	2600rpm
		130	1300rpm	180	1800rpm	280	2800rpm
		140	1400rpm	200	2000rpm	300	3000rpm

③エンジン始動時、オートモード1のバルブ開度の設定（H i時） \* [M1] [H i]点灯

・モニター表示 ⇒ 【H 7 0】



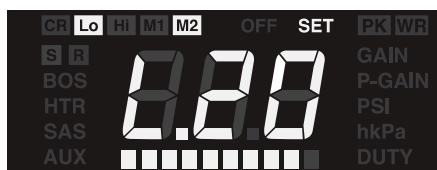
表示・点灯	初期値	表示	開度	表示	開度
H ## [M1]	H 70	H 50	50%	H 80	80%
		H 60	60%	H 90	90%
		H 70	70%	100	100%

— 各モード設定 — オートモード 2 の設定値を決定します。

(6) 各モード設定

④エンジン始動時、オートモード2のバルブ開度の設定 (L o時) \* [M2] [L o]点灯

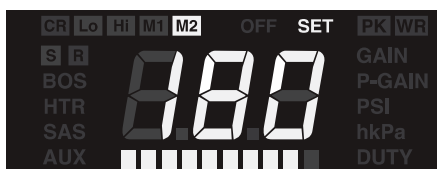
・モニター表示 ⇒ 【L 2 0】



表示・点灯	初期値	表示	開度	表示	開度	表示	開度
L. ## [M2]	L. 20	L. 00	0%	L. 25	25%	L. 70	70%
		L. 05	5%	L. 30	30%	L. 80	80%
		L. 10	10%	L. 40	40%	L. 90	90%
		L. 15	15%	L. 50	50%	L. 100	100%
		L. 20	20%	L. 60	60%		

⑤オートモード2のバルブ開度切り替え回転数の設定 \* [M2]点灯

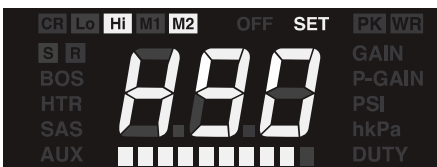
・モニター表示 ⇒ 【1 8 0】



表示・点灯	初期値	表示	回転数	表示	回転数	表示	回転数
1. ## [M2]	180	100	1000rpm	150	1500rpm	220	2200rpm
		110	1100rpm	160	1600rpm	240	2400rpm
		120	1200rpm	170	1700rpm	260	2600rpm
		130	1300rpm	180	1800rpm	280	2800rpm
		140	1400rpm	200	2000rpm	300	3000rpm

⑥エンジン始動時、オートモード2のバルブ開度の設定 (H i時) \* [M2] [H i]点灯

・モニター表示 ⇒ 【H 9 0】



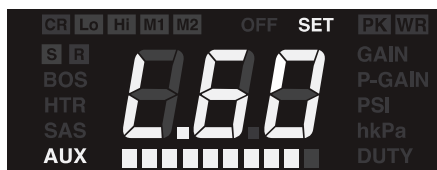
表示・点灯	初期値	表示	開度	表示	開度
H ## [M2]	H 90	H 50	50%	H 80	80%
		H 60	60%	H 90	90%
		H 70	70%	100	100%

# 一各モード設定一 各モードの設定値を決定します。

## (6) 各モード設定

⑦エンジン始動時、AUXモードのバルブ開度の設定 \* [AUX]点灯

・モニター表示 ⇒ 【L 6 0】



表示・点灯	初期値	表示	開度	表示	開度	表示	開度
L. ## [M2]	L. 60	L. 00	0%	L. 25	25%	L. 70	70%
		L. 05	5%	L. 30	30%	L. 80	80%
		L. 10	10%	L. 40	40%	L. 90	90%
		L. 15	15%	L. 50	50%	L. 100	100%
		L. 20	20%	L. 60	60%		

⑧エンジン始動時、スタートモードの設定

・モニター表示 ⇒ 【St 1】



表示・点灯	初期値	表示	点灯	
St. # [###]	St. 1	St. 1	[M1]	モード 1
		St. 2	[M2]	モード 2
		St. 3	[AUX]	モード 3

⑨ワーニングブザーの選択

・モニター表示 ⇒ 【b-0】



表示・点灯	初期値	表示	作動
b. ##	b. -0	b. -0	オフ
		b. -1	オン

⑩デューティー調整 \* [DUTY]点灯

・モニター表示 ⇒ 【1.00】



表示・点灯	初期値	表示	時間
-##-	-1.00-	0.7	-30%
		0.8	-20%
		0.9	-10%
		1.00	±0%
		1.1	+10%

※⑩デューティー調整は工場出荷時に必要となるモードですので、通常ではイニシャル状態の1.00のままご使用ください。

以上ですべての設定が終了です。

## — 製品についてのお問い合わせ —

この度はブリッツ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

BLITZ商品をお買い上げいただいたお客様からの情報を今後の製品開発などへフィードバックさせていただき弊社から商品に関する最新情報や、限定情報などをご案内させていただくための「カスタマー登録」が可能です。

BLITZ POWER SITEよりオンライン上で簡単に登録が可能ですのでぜひご登録をお勧めいたします。カスタマー登録をされていない場合、製品によっては保証期間内であっても保証規定内容が無効になる場合がございますのでご注意ください。

尚、製品に付属している「保証書」は、カスタマー登録の有無に関わらず、製品の検査・修理などのご依頼の際に必ず必要となります。

製品の取扱説明書と共に、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

カスタマー登録後も、製品の保証につきましては、別途製品に付属する「保証書」が必要となりますのでご注意ください。

カスタマー登録のメリット

- モニター販売や最新の製品情報、バージョンアップのご案内を優先的にさせていただく予定です。
- 登録情報に基づいて、製品の各種保証やサポートをご利用いただけます。

### ■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
TEL	0422-60-2277
FAX	0422-60-0066
URL	<a href="http://www.blitz.co.jp">http://www.blitz.co.jp</a>

### ■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
取扱説明書番号	1608901
初版作製年月日	2012年12月27日